

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52301	保育内容総論 The childcare contents general remarks	新美 順子			1	必修	1年後期

科目の概要

幼稚園、保育所、こども園における、保育の基本や「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に示された保育内容を総合的に学ぶ。
また、保育内容の歴史の変遷を理解し、保育の多様な展開について具体的に学ぶことによって保育を総合的に理解する。
これらの内容はディプロマ・ポリシー③④⑥に相当する。これらを身に付けるためにおこなう。

学修内容	到達目標
① 保育内容の歴史の変遷について理解する ② 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された保育内容について理解する。 ③ 保育内容と子ども理解について理解する ④ 保育の基本を踏まえた保育内容の展開について理解する。 ⑤ 保育者としての役割について理解する。	① 日本の保育内容の歴史の流れを知り、どのように変化してきたのかを説明することができる。(DP③) ② 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された保育内容について理解することができる。(DP③) ③ 保育の基本を踏まえた保育内容の展開について理解することができる。(DP③④) ④ 保育内容と子ども理解について理解することができる。(DP③) ⑤ 役割を果たす保育者がいることで子育ては、子ども同士・保護者同士・地域の人々のつながり合い、社会全体で支える営みであるということを結論づけることができる。(DP⑥)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組むことができる。
	働きかけ力	疑問等がある際には、積極的に質問をし解決することができる。
	実行力	失敗を恐れず、とにかくやってみようとする果敢さを持ち、取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	保育に関する様々な知識を情報収集ツールを活用し習得する。
	計画力	課題提出等は、計画性を持って取り組むことができる。
	創造力	固定観念に捉われることなく広い分野から情報を収集し、保育の多様な展開について幅広く考えることができる。
チームで働く力	発信力	自分が理解したことを他者にわかりやすく表現できる。
	傾聴力	他者の話を聞く中で、自分なりの意見や考えとを比較し再構築できる、
	柔軟性	他者の考えや意見を受け入れ、異なる価値観を尊重し柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	自分ができることだけでなく相手のことも考え目標に向かって協力し合うことができる。
	規律性	遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行できるようルールをまもることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：酒井幸子・守巧著「保育内容総論 あなたならどうしますか」萌文書林 本体1,900円＋税
 参考書：幼稚園教育要領解説書、保育所保育指針解説書、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説書、浅野拓久也編著「指導法もいっしょに学ぶ保育内容「言葉」教育情報出版、齋藤政子編「保育内容「言葉」と指導法」中央法規出版

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：保育原理、保育内容「健康・人間関係・環境・言葉・表現」
 資格との関連：幼稚園教諭2種・保育士資格

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容総論は、他科目と内容が重複しているため、双方を共に学んでいくと良い。 ・学びを实践に結びつけていくために、保育者として現場を想定し保育観を構築できるような努めること。 ・講義ノートは細目にとり、配布プリントと共に整理し、まとめておくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士としてあるべき姿を理解し、講義中はしっかりと意志表示をし受講してください。 ・講義中の態度、睡眠・私語・飲食・化粧は学ぶ意欲がないとみなし、退室となった場合には欠席とみなすことがあります。 ・予習・復習をして授業に臨み理解を深めましょう。 ・携帯電話や私物など講義に必要なものはカバンの中に入れてください。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト		0	①			
					②			
					③			
					④			
					⑤			
		レポート		20	①		✓	・劇づくりのワークシート（10点）子どもにとって劇づくりにはどのような意義があるのかを自分なりに考えながら取り組んでいるのかを観点として、評価する。 ・学修後の演習ワークを行う（10点）保育者としての心構えが理解できているかを評価する。
					②		✓	
					③		✓	
					④		✓	
					⑤		✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		70	①	✓	・劇づくりの実践（35点）自分の役割を果たしているかどうか、協力しながら劇づくりに参加しているかを観点として、評価する。 ・表現リズムあそびの実践（35点）積極的に取り組み、仲間と協力しながら参加できているかを評価する。			
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	主体性：積極的に授業に取り組むことができる。 実行力：自分で決めたことは最後までやり切ることができたか評価する。 課題発見力：現代の子育て状況の理解から課題を見極められたか評価する。 創造力：作品制作では、既存概念に捉われないこと、いろいろな発想のもと工夫して作り上げることができる。 発信力：課題発表では、発表の仕方を工夫し、クラス全体にわかりやすく発表することができる。 傾聴力：「あいづち」や「うなづき」など話を聞く姿勢ができています。 規律性：遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行できるようルールをまもることができる。			
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・到達目標・課題について、主体的に取り組むことができ、他の教科で学修した内容を踏まえて毎回の学修ノートにまとめて記述する。さらに、レポートにおいて、保育の基本理念や自身の見解を保育者として論理的な文章で論じることができる。 ・提出物の期限を守り、学ぶ意欲・講義内での挙手・発言等において、発信力を意識した積極的な姿勢を心がけている。 総合評価：90点以上 S(秀) 89点～80点A(優)	・レポートにおいて、保育の基本理念を理解し保育者を意識した文章で論じることができる。 ・毎回の学修ノートがまとめられており、課題提出ができ、講義内での挙手・発言において努力する姿勢を心がけている。 総合評価：79点～70点 B(良) 69点～60点 C(可)

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 保育内容総論とは何かを学ぶ	講義 質疑応答によるフィードバック	保育内容総論での学びを理解することができる。	(予習) ・自身の保育者観を確認する。 (復習) ・保育内容総論での学びは何かをまとめる。	45	主体性 働きかけ力 創造力 傾聴力 規律性
2	保育の目的と特色、歴史の変遷を学ぶ	講義 保育内容総論の学びについて	保育の目的と特色、歴史の変遷について、おおむね理解することができる。	(予習) ・幼い頃の園生活を思い出し、記録する。 (復習) ・保育の目的と特色について、確認する。	45	主体性 働きかけ力 課題発見力 傾聴力 規律性
3	保育内容の展開①劇あそびと劇づくり 絵本からごっこ遊び、ごっこ遊びから展開する劇あそび、劇づくりについて学ぶ。	演習 グループワーク パソコンを使用して、劇づくりの実践例を調べ、参考とする	子どもにとってのごっこ遊び、劇あそび、劇づくりについて、おおむね理解することができる。	(予習) ・劇づくりに適切な絵本を数冊選んでおく。 (復習) ・劇づくりの過程を確認する。 ・子ども理解について大切なことは何かをまとめる。 ・子どもたちの日常生活全体を捉える視点が欠かせない理由をまとめる。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
4	保育内容の展開②劇づくりの計画と分担、ストーリーの立案 劇づくり活動の見通しを立て、劇のストーリーを決め、グループで共有する。合わせて役割分担をする。	演習 グループワーク パソコンを使用して、劇づくりの実践例を調べ、参考とする 図書館を利用して、劇のストーリーとなる絵本を探す	所属するグループのなかで、他者と協力しながら取り組むことができる。	(予習) ・劇づくりの実践例を観る。 (復習) ・担当する役割のなかで、自分が何をすべきかを考える。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
5	保育内容の展開③大道具・小道具・衣装の制作① 劇づくりに必要なものを制作する。	演習 グループワーク	所属するグループのなかで、他者と協力しながら取り組むことができる。	(予習) ・大道具・小道具・衣装の制作に何が必要かを考える。 (復習) ・時間内にできなかったものを制作する。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
6	保育内容の展開④大道具・小道具・衣装の制作② 劇づくりに必要なものを制作する。	演習 グループワーク	所属するグループのなかで、他者と協力しながら取り組むことができる。	(予習) ・大道具・小道具・衣装の制作に何が必要かを考える。 (復習) ・時間内に制作できなかったものを完成させる。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
7	保育内容の展開⑤劇づくりの練習 演じる劇を練習する。	演習 グループワーク	所属するグループのなかで、他者と協力しながら取り組むことができる。	(予習) ・自分の役割を明確にする。 (復習) ・劇の完成度を高める。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
8	保育内容の展開⑥劇づくりの実践 劇づくりの実践	演習 実践 (発表)	自分の役割を果たすことができる。	(予習) ・役割を円滑に果たせるように準備する。 (復習) ・実践をとおして得た気づきをまとめておく。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	保育内容と「領域」における「ねらいと内容」	講義 質疑応答によるフィードバック	5領域のねらいと内容を理解する。	(予習) ・テキスト序章を読み込む (復習) ・領域のねらいと内容をまとめる	45	働きかけ力 課題発見力 傾聴力 規律性
10	事例研究①(健康・人間関係)	講義 質疑応答によるフィードバック グループワーク	領域「健康・人間関係」についておおむね理解できる。	(予習) ・幼稚園教育要領を読み込む (復習) ・演習ワークを記入する	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
11	事例研究②(環境・保護者との連携)	講義 質疑応答によるフィードバック グループワーク	領域「環境・保護者との連携」についておおむね理解できる。	(予習) ・幼稚園教育要領を読み込む (復習) ・演習ワークを記入する	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
12	保育教材の展開①(表現あそび)	演習 グループワーク	仲間と協力しながら取り組むことができる。	(予習) ・リトミックとは何か調べる (復習) ・覚えた表現あそびの確認	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
13	保育教材の展開②(表現あそび教材を用いた指導法)	演習 グループワーク	仲間と協力しながら取り組むことができる。	(予習) ・音楽表現活動の指導案を調べる (復習) ・表現あそびの確認	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
14	保育教材の展開③(絵カードを使用した幼児の音楽表現活動)	演習 グループワーク	仲間と協力しながら取り組むことができる。	(予習) ・言葉のリズムについて調べる (復習) ・様々な言葉のリズムを確認する	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
15	保育教材の展開④(絵カードを使用した幼児の音楽表現活動の指導法)	演習 グループワーク	仲間と協力しながら取り組むことができる。	(予習) ・言葉のリズムで使用する絵を楽譜に書き込む (復習) ・様々な言葉のリズムを確認する	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力